



群馬県ユネスコ連絡協議会

<http://gunma-unesco.com>

会長 樋口 克己

事務所 群馬県教育委員会生涯学習課

つなげよう平和の心 広げようユネスコの輪



ユネスコが掲げる理念と

民間ユネスコ活動の役割

群馬県ユネスコ連絡協議会 会長 樋口 克己

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」というくだりはユネスコ憲章の前文の中でも特に良く知られた文言です。そして、「相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。」と断じております。

この反省に基づき、「国際連合の設立の目的であり、且つ、その憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。」とユネスコ憲章前文は結んでおります。

私達が構成する民間ユネスコ団体は、この憲章が宣言している精神・趣旨に則り活動しているものです。

しかし、ユネスコが創設されてから73年余りが経過しますが、今日も地球上では紛争が絶えず、テロも続発しており、真の世界平和が実現しているとは言えません。むしろ、自国第一主義の横行やナショナリズムの台頭など排他的な風潮の高まりが見られ、危機感が増大しているように感じられます。

今こそ、国連設立の目的であり、世界平和と人類共通の福祉を推進するユネスコの重要性を再確認したいと考えています。ユネスコ憲章で示された世界平和を希求する理念の崇高さと使命の大切さを改め

て強く感じます。

民間ユネスコ活動に関っている私達がなしうことは決して大きなことではないと思いますが、継続的で着実な活動が成果を挙げていると自負しております。以下に活動の一部を紹介します。

世界寺子屋運動は各ユ協が多年にわたり活動を継続しております。学校等にお願いして書きそんじハガキ等の回収を行っている「書きそんじハガキ回収キャンペーン」活動は大きな成果をあげております。各ユネスコ協会が回収した書きそんじハガキは郵便局で切手と交換し、日本ユネスコ協会連盟に送っております。その資金が東南アジア各国にコミュニティスクール（寺子屋）建設等の教育支援に当てられており、国民の識字率向上や学校に行けない子どもへの支援等の面で大きな成果を挙げしております。

持続可能な社会の構築を目指す活動でもあるESD（持続可能な開発のための教育）の普及及びユネスコスクールの拡充の取り組みは、着実な成果を挙げしております。群馬県内にユネスコスクール加盟校が確実に増えており、次世代の育成にも一役買ってしております。

私達の民間ユネスコ活動団体は、他にも事業を行っております。その全てが、ユネスコ理念に基づいた活動であり、今後とも、それらの活動を継続的に行ってまいりたいと存じます。会員の皆様や関係各位には、ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

令和元年度定期総会行われる！！

令和元年5月22日（水）高崎市中央公民館におきまして、群馬県ユネスコ連絡協議会の定期総会が行われました。定期総会には70名余りの会員が参加し、平成30年度事業報告並びに決算報告、令和元年度事業計画並びに予算案等が話し合われ、議題は提案どおり可決・承認されました。

令和元年度 事業計画

	事業名	期日	会場	備考
県ユ 連主 催事 業	定期総会	5月22日（水）	高崎市中央公民館	<高崎ユ協主管>事業・決算報告、事業計画（案）予算（案）等審議
	運営研修兼事務局員研修会	9月21日（土）	太田・金山城跡	<太田ユ協主管>
	研修視察	6月2日（日）	碓氷峠鉄道施設	<安中碓氷ユ協主管>
	海外青年交歓研修会	10月26日（土）	コミュニティセンター	<前橋ユ協主管>
	広報誌「ユネスコ群馬」第76・77号刊行	発行7月4日 1月31日		<県ユ連広報委員会担当>年2回発行（会員全員及び関係者に配布）
専 門	ユネスコスクール研修会	7月24日（水）	藤岡市総合学習センター	<ユネスコスクール委員会担当>
	世界遺産研修会	月 日（ ）	未定	<世界遺産委員会担当>
補 助 事 業	国際理解バス	8月中に県内のユ協が実施予定	訪問先は東京又は筑波JICAや都内大使館等	*国際理解・国際交流を図るため、各ユ協が児童・生徒対象に実施
	文化活動補助 ー絵画等作品展の補助ー	県内4ユ協がユ協毎に実施	各ユ協が会場を設定	*児童・生徒の絵画等の作品の展示会を単位ユ協が行う。
会 議	理事会 関ブロ群馬実行委員会	年間12回 (毎月開催)	前橋プラザ元気21	◎理事会終了後、2020年度開催の関ブロ群馬大会実行委員会を行う
	役員会議	適宜開催	前橋プラザ元気21	*本部役員と事務局員参加
日 ユ 協 等	日ユ協定期総会	6月15日（土）	東京	本県からも参加予定
	日本ユネスコ運動全国大会	9月7～8日	東京都豊島区	東京都豊島区で開催
	関ブロ埼玉大会	10月5～6日	埼玉県蓮田市	関東ブロックユネスコ活動研究会
	関ブロ群馬大会準備	2020年度開催	高崎市	実行委員会を組織し企画・準備に当たる
	日ユ協評議員会に出席	年間3回開催	東京	本県の評議員が出席予定
そ の 他	世界寺子屋運動実践 (日ユ協と連携協力)	通年		県内各ユ協が「書きそんじハガキ回収キャンペーン」を推進
	東日本大震災子ども支援 募金（日ユ協と連携協力）	通年		県内各ユ協が募金を継続、震災被災者に就学支援をする。

令和元年度 国際理解バス実施予定

太田ユ協	8月23日（金）富岡製糸場	沼田ユ協	8月9日（金）筑波JICA JAXA
前橋ユ協	未定	館林ユ協	7月30日（火）埼玉県立川の博物館
高崎ユ協	8月22日（木）JICA 大使館	藤岡地方ユ協	8月7日（水）JICA台北経済文化代表処
富岡ユ協	10月28日（月）フランス大使館	大泉ユ協	8月6日（火）or 8日（木）JICA JAXA

令和元年度 各ユ協作品展開催予定

太田ユ協	11月17日（日）～11月21日（木）	伊勢崎ユ協	8月20日（火）～8月23日（金）
前橋ユ協	9月27日（金）～10月8日（火）	高崎ユ協	10月25日（金）～10月30日（水）

令和元年度 予算

1 収入

項 目	平成30年度 予算 (円)	令和元年度 予算 (円)	摘 要
繰 越 金	58,117	42,472	前年度繰越金
会 費	514,000	514,000	会 費 490,000円 (40,000円×12コ協+10,000円×1) 会場負担金 24,000円 (2,000円×12コ協)
事 業 収 入	390,000	390,000	県コ連新聞代 240,000円 (20,000円×12コ協) 名刺交換代 150,000円 (2,000円×75人)
補 助 金	80,000	80,000	群馬県教委補助金
雑 収 入	10,023	20	預 金 利 子 20円
合 計	1,052,140	1,026,492	

2 支出

項 目	平成30年度 予算 (円)	令和元年度 予算 (円)	摘 要	
会 議 費	30,000	30,000	理事会等会議費	
旅 費	60,000	60,000	各種旅費	
通 信 費	30,000	30,000	切手等通信費	
印 刷 費	10,000	10,000	各種印刷経費	
消 耗 品 費	35,000	35,000	事務用品等消耗品費	
事 業 費	682,000	712,000		
事 業 費 内 訳	新聞発行費	200,000	250,000	* 5万円増額 (年2回発行)
	単コ協助成	156,000	156,000	13,000円×12コ協
	県コ連総会	40,000	30,000	* 1万円減額
	海外青年交歓研修	50,000	50,000	
	研修視察	50,000	50,000	
	世界遺産委員会	40,000	30,000	* 1万円減額
	国際理解バス	16,000	16,000	2,000円×8コ協
	運営研修	50,000	50,000	
	ユネスコスクール委員会	50,000	50,000	
HP維持管理費	30,000	30,000		
文化活動補助費	24,000	24,000	6,000円×4コ協	
構成員負担金	9,600	6,600		
積 立 金	100,000	50,000	<内訳>関プロ積立金 5万円 創立60周年記念事業積立は本年休止	
慶 弔 費	10,000	10,000		
予 備 費	61,540	58,892		
合 計	1,052,140	1,026,492		

※平成30年度予算は、当初予算ではなく、11月7日付補正予算の数字を計上しています。

「第4回 群馬県ユネスコスクール研修会」報告

ユネスコスクール委員長 岸 正博

2018年12月14日(金) 13:20~16:40、藤岡市総合学習センターにて開催。参加者は、ユネスコ協会会員、県内小中高の教員、教育委員会関係職員等、104名。

内容は、I部講演、II部ユネスコスクールの活動報告、質疑・協議。2018年度で4回目を迎えた。



講師は、東京大学大学院教育学研究科准教授の北村友人氏。演題は、「SDGs時代における『学び』の在り方」-ESDをめぐる国際的な議論を踏まえて-である。氏は、パリのユネスコ本部に勤務した経験があり、ユネスコ活動への熱い思いももつ。SDGsの背景にある世界観・人間観、世界が直面する多様な課題(グローバルリスク)、SDGs実現のための教育・ESDについての理解を深めた。

II部のユネスコスクール活動報告では、藤岡市立北中学校の小西啓吾教諭により、「『群馬のたからもの』を世界に発信!」-アートマイルによる共同学習を通して-というタイトルで、前勤務校、小野小学校での実践を報告した。台湾の嘉義県、Gang Ping Elementary Schoolの子どもたちと壁画の共同制作を通しての、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習内容である。この実践は、「『社会に開かれた教育課程』を実現する学校づくり」(学事出版2018年12月発刊)に掲載されている。2校目の発表は、「松井田北中学校の取組」について、黛誠一教頭が実践報告を行った。2016年度にユネスコスクールに加盟承認。地球規模の問題に対する国連システムの理解、人権・民主主義の理解と促進、異文化理解、環境教育の4つの基本分野を学習テーマとし、各教科等の学習と関連させながら、主体的・協働的な体験活動を行っている。ユネスコスクールとしてさらに発信力を高め、活動の輪を広げていきたいとしている。

「ユネスコ世界遺産研修会」報告

世界遺産委員長 樋口 克己

2019年1月22日(火)、群馬県ユネスコ連絡協議会の世界遺産研修会が高崎市中央公民館で開催されました。参加者は62名でした。

開催趣旨は次の通りです。「世界遺産委員会は、群馬県内の世界遺産やユネスコ世界の記憶、等の資産の保護・保全活動に限らず、身近な地域の資産にも目を向けた活動を進めるとともに、日本ユネスコ協会連盟が推進している未来遺産の発掘も考えに入れた活動を進めることとした。特に本年度は、専門家を招聘した研修を行い、群馬県内にある地域資産に目を向ける機会とした。」

本年度は、高崎商科大学特認教授の熊倉浩靖先生を講師に招いて、「ユネスコが評価した群馬の資産」という演題で講演をしていただきました。熊倉先生の講演から次のことを学ぶことができました。

- 「ユネスコ5大事業とラムサール条約と群馬」という話から、富岡製糸場と絹産業遺産群、上野三碑、みなかみのユネスコエコパーク、下仁田や浅間山麓のジオパーク等について理解が深まった。
- 「富岡製糸場と絹産業遺産群はなぜ世界遺産か」という話では、当遺産が世界遺産と評価された理由を深く理解できた。
- 「世界の記憶：上野三碑が語るもの」という話では、三碑それぞれの由来や価値を再認識できた。
- 「生物圏保存地域みなかみエコパーク」という話を通して、自然遺産とエコパークの違いを把握できた。
- 「3つのラムサール条約登録湿地」という講話では、尾瀬、渡良瀬遊水地、芳ヶ原湿地群について、それぞれの価値や由来を知ることができた。
- 「世界ジオパークを目指す下仁田・浅間山麓」という話では、ジオパークについて理解が深まった。
- 「無形文化遺産への群馬からの提案」というくだりでは、熊倉先生から次のような提案をいただいた。
 - ・日本の温泉を無形文化遺産に(群馬が牽引して)
 - ・「大地と歴史の公園ぐんま」を名のろう。

以上、大変有益な研修ができたと感じました。今後とも地域資産に目を向けた研修をしたいと思えます。

群馬県ユネスコ連絡協議会 加盟団体

安中碓氷ユ協、伊勢崎ユ協、大泉ユ協、太田ユ協、桐生ユ協、高崎ユ協、館林ユ協、富岡ユ協、中之条ユ協、沼田ユ協、藤岡地方ユ協、前橋ユ協、国際ソロプチミスト前橋

あ と が き

5月1日、新天皇が即位し、時代が「平成」から「令和」へと移り変わりました。「平成」は戦争もなく平和な時代が続きましたが、「令和」も同じように平和が続くことを願ってやみません。

広報「ユネスコ群馬」は、今年度から年間2回の発行となります。例年1月に1回発行していたのですが、情報伝達・情報交換の回数を増やした方が活動の活性化につながるの声を応えたものです。次号は来年1月発行です。各ユ協の活動について報告したいと思います。事務局長 岡部 幹夫

編集・発行

群馬県ユネスコ連絡協議会
発行責任者 樋口 克己
群馬県前橋市大手町1-1-1
群馬県教育委員会生涯学習課内
電話 027-226-4668